

「まちづくり地域計画」の提案書

参考：網掛けは、緊急項目を示す。

概要版

◆ (1) 自然を活かした健康長寿のまちづくり

☆当コミュニティは高齢者が多いことから、高齢者が何時までも健康で、介護が要らないように暮らしていくこと（長野県で取り組んでいる運動＝ピンピンコロリ・PPK運動）が理想である。このため、豊かな自然を保全し、その自然を活かして整備してきた「健康づくり散策路」等の一層の充実を図り、自主的な維持管理につとめる。



- ①健康づくり散策路のアクセスとして、④若瀬橋一帯の魅力ある空間づくりと、⑨白瀬上配水池のフェンスの移設。

- ②行者山の前山無名峰にネーミングを行い、ピークに「登山記録箱」を設置する。

- ③県道大沢西宮線ガードレールに開口部を設ける。

- ④西宮市に抜ける県道明石神戸宝塚線にゆずり葉緑地から西方面に散策路としての歩道を新設する。

- ⑤ゆずり葉台分岐点から盤滝口交差点までのかつての山道の復元を図る。



- ⑥ゆずり葉緑地のゴミ対策の美化看板の設置や交通環境整備と北端にトイレの新設。

- ⑦逆瀬川マンション北側から逆瀬台住宅に沿う白瀬川両岸に露地を穿って樹木を植栽してアメニティロードとしていく。



- ⑧集合住宅内の市立公園と市設緑地の花壇植栽は、園芸愛好者サークルに開放して花壇を整備し、市民の憩いの場とする。

- ⑨地域住民は、地域内公園、公共用地の環境の保全・育成や裏山の散策路の整備活動の活性化に努める。

- ⑩深谷貯水池を花見の名所にするとともに、水にふれあえる公園とする。

- ⑪宝塚ゴルフ場の農薬散布に係る情報を定期的に行うよう要望する。

- ⑫県道明石神戸宝塚線は、車の騒音が大きく、速度制限や看板の設置などの騒音対策を行う。

- ⑬逆瀬台の住宅内バス通りは、警察と連携のもと、スピード制限を遵守するよう安全対策、騒音防止活動を行う。



- ⑭逆瀬台1丁目の若瀬橋付近の児童の通学時は、保護者の立ち番の他、警察官の交通整理など児童の安全対策を推進する。

- ⑮青葉台の蔵人共同墓地及び市営西山霊園に、墓参のための駐車場の新設を行う。

- ⑯逆瀬台5丁目から蔵人共同墓地横を通る道路において、道路中央の部分が高くなっており、大変危険につき安全対策を行う。

- ⑰路上駐車は、警察署へ取り締まりを強化するよう要望し、地域独自のパトロール等に取り組む。

- ⑱阪急バス・逆瀬台センター行きの路線で④逆瀬台5丁目と逆瀬台センター及び⑥逆瀬台1丁目と逆瀬台5丁目の中間地点に新しいバス停2カ所の設置を要望する。

- ⑲阪急バス・光ガ丘行きの路線で運行時間が、現在午後9時台で終了しているので10時半頃までの運行を要望する。

- ⑳県道明石神戸宝塚線は、白瀬川橋西詰から諭鶴羽橋北詰までを④3車線にして、右左折レーンの完全整備を行う。㉑南側沿いに幅広いグリーンカラーの歩道設置。㉒その歩道区域は、常緑高木の緑地化と樹間はベンチ等を置いて憩いの場とする。㉓現在2カ所あるバス停の十分なポケットの設置。



◆ (4) 美しい、緑と街並みを培うまちづくり

☆ゆずり葉コミュニティは大半が計画的に開発された住宅地であり、道路・公園、住宅地等が整然と整備されていることが特徴である。また里山や中小河川などの豊かな自然を有し、緑に包まれた閑静な住宅地としてのイメージが強い。このような優れた景観・環境を保全し、更に魅力アップするための活動に取り組む。

◆ (2) ふれあいと助け合いで安心して暮らせるまちづくり

☆今後、高齢者率が益々高くなっていくことから、地域の憩い・交流の場としくみづくり、高齢者が安心して社会参加、日常生活ができるしくみづくりに取り組む。

☆また子ども達から高齢者までがふれあえ、コミュニティの活性化につながるような施設づくり、活動に取り組む。

- ⑫逆瀬台1丁目の市有地(ガソリンスタンド横の空き地)に、児童～高齢者までがふれあえる交流複合施設または、子ども達のがのびのびと遊べる広場の整備を検討する。



- ⑬小・中・高校の体育館や運動場・空教室、各集合住宅の集会所・体育施設を一定条件の下に地域住民に開放し、コミュニティ活動の活性化を図る。

- ⑭ゆずり葉コミュニティルームの有効活用に環境条件の充実を図る。

- ⑮自治会館を地域住民のふれあいサロンとして活用して行く。

- ⑯地域の有志に、街かどふれあいスペースを提供してもらい、ふれあい・交流を活発にする。



- ⑰独居老人の緊急通報システムや見守り運動を民生委員と連携して構築・展開する。

- ⑱防犯対策として、地区内に交番の新設と警ら箱・警察官立寄り所の増設を要望する。

◆ (3) 安全・安心・便利なまちづくり

☆近年の車の保有率の増加にともない、当地域でも自動車交通量は年々増加し、人と車が交錯し、一部の道路では大変危険な状況が見受けられる。安心して歩けるような交通対策を推進する。

☆高齢者も多く、公共交通の充実や車椅子で安心して通行できるような道路環境づくりを推進する。

- ⑲県道明石神戸宝塚線の西山住宅前に歩道の整備を推進する。

- ⑲ゆずり葉コミュニティ西側に広がる里山はボランティア管理活動の推進を図る。

- ⑳県道明石神戸宝塚線やバス通りの沿道は、安全で快適な道路空間づくりに努める。

- ㉑緑化の創出事業として、逆瀬台6丁目バスセンターから5丁目22番地までの街路樹を統一した樹木に植替え、大きく繁茂させる。



- ㉒白瀬橋を渡った4丁目公園の正面入口付近は、防犯灯をかねたまちの入口にふさわしい瀟洒なデザインの街路灯を設置する。

- ㉓宝塚ゴルフ場の鉄柵フェンス・コンクリートポール・ネットは、まちの景観を大きく損ねているため、ゴルフコースの設計を見直すなどして、これらの撤去検討を要望していく。

◆ (5) まちづくりにつながるひとづくり

☆「まちづくりはひとづくり」といわれるように人材の発掘・育成が重要である。一般に若い世代は地域への関心が薄く、これまでコミュニティ活動の中心であった方々は高齢で活動に参加しにくいという状況がみられる。次世代のコミュニティ活動を担っていく人材の発掘・育成に積極的に取り組む。

- ㉔小・中学校の教育のなかで地域のまちづくりに対する意識や地域への愛着を育む。

- ㉕大人から積極的に子供達に声をかける「あいさつ運動」を実施する。

- ㉖地域で活動している各種団体の交流会、情報交換のためのイベント等を開催する。

- ㉗地域内の様々な才能をもった住民に参加を呼びかけ、仮称「文化・技能祭」を開催し、地域文化の発揚と交流を定着する。

- ㉘県・市などが主催するまちづくり研修会への派遣・参加を積極的に行う。また、他コミュニティや他自治体のまちづくり協議会と交流を行い、学習する。

- ㉙ミズクポスト、ゆずり葉だより、ホームページの充実を努め、双方向の意見交換ができるシステムを検討する。



以上